



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社サンワカンパニー

上場取引所 東

コード番号 3187 URL <http://www.sanwacompany.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山根 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 津崎 宏一

TEL 06-6359-6721

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	5,605	0.8	173	—	174	—	35	811.7
2020年9月期第2四半期	5,560	9.1	10	△76.7	14	△66.5	3	△85.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	2.02	2.01
2020年9月期第2四半期	0.22	0.22

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第2四半期	4,783	1,954	40.9	111.53
2020年9月期	4,387	1,968	44.9	112.42

(参考)自己資本 2021年9月期第2四半期 1,954百万円 2020年9月期 1,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,073	5.8	100	101.2	95	67.0	5	—	0.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	17,946,000 株	2020年9月期	17,906,000 株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	418,800 株	2020年9月期	398,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	17,515,991 株	2020年9月期2Q	17,421,990 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。2021年9月期の配当予想は未定ですが、今後の業績等を総合的に勘案し配当を決定次第、速やかに開示いたします。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化及び感染再拡大に伴い緊急事態宣言が発出されるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。今後、同感染症に対するワクチンの普及に伴い同感染症が沈静化することが期待されるものの、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は売上成長を維持しつつ高収益な企業体質に変革することを目指し、国内事業の収益基盤を強化すると同時に、今後の収益の柱となる新規事業の土台作りを開始いたしました。

当第2四半期累計期間におきましては、主力の洗面に加え、エクステリアや収納カテゴリの売上が好調に推移いたしました。洗面カテゴリでは、洗面台や洗面ボウルと併せてミラーボックスの売上が好調に推移し、エクステリアや収納カテゴリでは人気商品のカラーバリエーション追加などにより売上が増加いたしました。オリジナル新商品の投入に加え、インテリア雑貨等の取り扱いを増やすなど、空間全体をプロデュースできる品揃えを目指し、ラインナップを拡充しております。また、新たな生活様式への対応として、オンライン接客サービスをはじめ、新商品オンラインセミナーを開催するなどオンラインを活用した取り組みを推進しているほか、2020年10月より在宅勤務とフレックスタイム勤務を制度として導入し、変化する環境に対応した働きやすい環境づくりにも注力いたしました。その他、今後の建築・インテリア業界を支える才能豊かなデザイナーを発掘する「サンワカンパニーデザインアワード」や、デザイン業界の未来を担うアーティストの支援を行う「sanwacompany Art Award / Art in The House」を継続して開催するなど、デザインを強みとする当社のブランド認知を高めると同時に、これからの社会を発展させる若者支援にも取り組んでおります。

一方で、今後、住宅事業や不動産再販事業などの新規事業を強化していくため、2020年10月に当該事業を管轄するスペースデザイン事業部を新設いたしました。これにより、物件の企画・設計から設備・建材のコーディネートといった空間をトータルプロデュースするサービスを強化してまいります。

海外事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で現地への訪問や現地での営業活動に制約が続く中、オンラインを活用した商談やショールームツアーを実施するなど、現地の代理店と協業して販路の拡大に取り組まれました。

なお、前事業年度に実施していた倉庫移管が完了し倉庫運営を効率化したこと、オンライン会議システムの活用等で旅費交通費が削減できたことなどにより、販売費及び一般管理費は前事業年度より減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高5,605百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益173百万円（前年同期比1614.9%増）、経常利益174百万円（前年同期比1118.5%増）、四半期純利益35百万円（前年同期比811.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ395百万円増加し、4,783百万円となりました。その主な要因は、差入保証金の増加135百万円、売掛金の増加115百万円、建設仮勘定の増加111百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ409百万円増加し、2,828百万円となりました。その主な要因は、買掛金の増加309百万円、短期借入金の増加100百万円、資産除去債務（流動負債）の増加73百万円、未払法人税等の増加73百万円があった一方で、前受金の減少155百万円、資産除去債務（固定負債）の増加50百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ13百万円減少し、1,954百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少17百万円があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して167百万円減少し、653百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は70百万円（前年同期比66.7%減）となりました。これは主に仕入債務の増加額309百万円を計上した一方で、前受金の減少額155百万円、売上債権の増加額115百万円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は241百万円（前年同期比96.5%増）となりました。これは主に差入保証金の差入による支出125百万円、有形固定資産の取得による支出120百万円を計上したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は4百万円（前年同期は139百万円の使用）となりました。これは主に長期借入による収入100百万円があった一方で、配当金の支払額52百万円、長期借入金の返済による支出46百万円を計上したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2021年2月12日に公表いたしました内容に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	821,330	653,667
売掛金	626,258	741,487
商品	881,470	937,788
未着商品	26,345	94,955
貯蔵品	27,208	10,917
前渡金	56,123	120,837
前払費用	83,991	96,348
その他	7,056	13,468
流動資産合計	2,529,784	2,669,469
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	446,790	483,598
工具、器具及び備品（純額）	34,750	34,654
土地	28,731	28,731
建設仮勘定	1,010	112,455
有形固定資産合計	511,283	659,439
無形固定資産		
商標権	9,631	8,950
意匠権	2,156	1,840
ソフトウェア	144,058	100,070
無形固定資産合計	155,847	110,860
投資その他の資産		
投資有価証券	250,464	231,308
関係会社株式	0	0
長期貸付金	48,399	50,644
関係会社長期貸付金	133,000	133,000
長期前払費用	335,047	345,727
差入保証金	446,917	582,021
繰延税金資産	101,031	125,098
その他	8,516	8,523
貸倒引当金	△133,000	△133,000
投資その他の資産合計	1,190,376	1,343,325
固定資産合計	1,857,507	2,113,626
資産合計	4,387,292	4,783,096

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	631,552	940,748
短期借入金	700,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	63,332	33,336
未払金	158,697	183,598
未払費用	89,282	90,141
未払法人税等	22,453	95,537
未払消費税等	74,716	26,359
前受金	395,552	240,117
預り金	8,167	7,675
資産除去債務	38,000	111,113
賞与引当金	57,926	87,951
ポイント引当金	17,099	18,585
その他	7,402	4,179
流動負債合計	2,264,182	2,639,344
固定負債		
長期借入金	16,670	—
資産除去債務	136,104	186,657
長期預り保証金	2,250	2,250
固定負債合計	155,024	188,907
負債合計	2,419,206	2,828,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	591,839	593,299
資本剰余金		
資本準備金	541,839	543,299
資本剰余金合計	541,839	543,299
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	979,909	962,851
利益剰余金合計	979,909	962,851
自己株式	△145,562	△145,562
株主資本合計	1,968,027	1,953,889
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58	953
評価・換算差額等合計	58	953
純資産合計	1,968,085	1,954,843
負債純資産合計	4,387,292	4,783,096

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年3月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年10月1日 至 2021年3月31日）
売上高	5,560,800	5,605,336
売上原価	3,617,295	3,613,356
売上総利益	1,943,504	1,991,979
販売費及び一般管理費	1,933,359	1,817,997
営業利益	10,145	173,982
営業外収益		
受取利息	637	648
為替差益	531	2,245
受取保険金	50	3,012
受取補償金	2,745	36
協賛金収入	2,000	—
物品売却益	171	454
雑収入	65	1,602
営業外収益合計	6,201	7,999
営業外費用		
支払利息	1,155	1,165
支払手数料	899	711
投資事業組合運用損	—	2,046
株式報酬費用	—	3,910
営業外費用合計	2,055	7,833
経常利益	14,291	174,147
特別損失		
固定資産除却損	176	1,107
投資有価証券評価損	—	9,999
減損損失	—	73,113
特別損失合計	176	84,221
税引前四半期純利益	14,115	89,926
法人税、住民税及び事業税	17,195	78,924
法人税等調整額	△6,970	△24,461
法人税等合計	10,225	54,462
四半期純利益	3,889	35,463

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年3月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年10月1日 至 2021年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	14,115	89,926
減価償却費	85,548	74,195
減損損失	—	73,113
賞与引当金の増減額（△は減少）	△607	30,025
株式報酬費用	7,030	11,172
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△478	1,486
受取利息	△637	△648
支払利息	1,155	1,165
投資事業組合運用損益（△は益）	—	2,046
固定資産除却損	176	1,107
投資有価証券評価損益（△は益）	—	9,999
売上債権の増減額（△は増加）	△150,134	△115,229
たな卸資産の増減額（△は増加）	148,860	△108,636
仕入債務の増減額（△は減少）	161,217	309,195
前渡金の増減額（△は増加）	△31,740	△64,714
前受金の増減額（△は減少）	△9,341	△155,434
未払金の増減額（△は減少）	3,662	18,352
未払消費税等の増減額（△は減少）	39,140	△48,356
その他	△26,953	△50,102
小計	241,014	78,664
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△1,127	△1,206
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△29,614	△7,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,275	70,090
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△67,064	△120,450
投資有価証券の取得による支出	△40,260	—
無形固定資産の取得による支出	△15,850	△4,638
投資事業組合からの分配による収入	—	8,400
差入保証金の差入による支出	△172	△125,324
差入保証金の回収による収入	276	202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123,071	△241,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△88,670	△46,666
配当金の支払額	△52,224	△52,196
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,095	2,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,799	4,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△52,595	△167,663
現金及び現金同等物の期首残高	704,012	821,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	651,416	653,667

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

（資産除去債務の見積額の変更）

当第2四半期累計期間において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報が入手されたことに伴い、会計上の見積りの変更を行いました。この見積りの変更による増加額123,341千円を変更前の資産除去債務に加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産の一部について減損損失として処理したため、当第2四半期累計期間の税引前四半期純利益が73,113千円減少しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症拡大は経済に大きな影響を与え、同感染症の長期化及び感染再拡大に伴い3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、収束時期等を予測することは困難な状況にありますが、現時点においては、新型コロナウイルス感染症拡大による事業等への影響は、軽微と捉えております。

今後、ワクチンの普及に伴い2021年9月に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に縮小していくと仮定して、会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損の判定）を行っております。

なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（セグメント情報）

当社は、住宅設備機器、建築資材のインターネット通信販売事業の他に当事業年度からスペースデザイン事業部の新設に伴い関連する不動産賃貸収入を売上計上しておりますが、重要性が乏しいことから、セグメント別の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。